

財務レポート

2013（平成25）年度版

伝える大学
伝える大学



国立大学法人

筑波技術大学

筑波技術大学は聴覚障害者と視覚障害者のための
我が国で唯一の高等教育機関です。

目 次

はじめに	1 ページ
トピックス	2 ページ
国立大学法人の決算について	5 ページ
貸借対照表	6 ページ
損益計算書	8 ページ
キャッシュ・フロー計算書	10 ページ
国立大学法人等業務実施コスト計算書	11 ページ
決算報告書	12 ページ
財務分析	
収入・支出の推移	13 ページ
財務指標	15 ページ
総事業費の推移	18 ページ



はじめに

一眼や耳からの情報取得に制限のある学生が、バリアのない教育環境で思う存分勉強し、持っている能力を开花させ、より良い社会自立をしてほしい。障害者のリーダーとして社会に参画・貢献してほしい。

これらの願いを実現するために、筑波技術大学は我が国で唯一の聴覚障害者と視覚障害者のための高等教育機関として27年前に創られた国立大学です。

これまでに、4年制大学化、大学院の設置、教職課程の開設と、大学としての機能の充実を図ってきましたが、さらに、本年4月より世界で唯一「情報保障学」が学べる大学院「情報アクセシビリティ専攻」が開講しました。

これからも教育力と研究力を高め、ますます多様化する学びの需要に対応できる大学、全国の障害者教育の共同利用拠点として他大学等への支援機能を担う大学として、着実な計画の推進により実績を積み重ねていきます。

本学を支えてくださる学内外の皆様へ、財務に関する情報を提供し、本学の運営状況を知っていただくため、平成25事業年度決算の財務レポートを作成いたしました。

本財務レポートは財務諸表等で公表している情報を分かりやすく、読みやすいものにするを心がけて作成しており、本学の活動をご理解いただく上で、お役に立つ資料となれば幸いです。

平成26年11月 国立大学法人筑波技術大学長 村上 芳則



トピックス（平成25年度）

- PEPNet-Japanが内閣総理大臣表彰を受賞（12月）



安倍晋三内閣総理大臣より表彰状を受け取る村上学長

12月9日、筑波技術大学に事務局を置く日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）は、平成25年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰のうち、極めて顕著な功績又は功労があったと認められるものに対して与えられる最高位の賞【内閣総理大臣表彰】を受賞しました。

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、もって、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的としています。

今回受賞した日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）は、聴覚障害学生の高等教育におけるバリアフリー・ユニバーサルデザイン化を目的に設立され、22大学で構成された全国ネットワークであり、モバイル型の遠隔情報システムによる授業聴講支援を行うなど、大学・関係者の間をつなぎ、それぞれが持つノウハウを共有・発信することで、現在ある聴覚障害学生支援体制の基礎を生み出し、大学の取組に対する支援及びその普及・定着に大いに貢献していることを評価され、表彰されるに至りました。

表彰式は、内閣総理大臣官邸において執り行われ、授賞式には、PEPNet-Japan 代表である本学の村上芳則学長及びPEPNet-Japan 運営委員長である愛媛大学高橋信雄教授が出席し、村上学長が安倍晋三内閣総理大臣から直接賞を頂きました。

表彰に際して安倍内閣総理大臣からは、本学が構築したモバイル型の遠隔情報保障システムに関しての言及もあり、本学としても今後の活動の励みになることと思います。設立から9年目に入ったPEPNet-Japan の事務局は本学の聴覚障害学生支援・大学間コラボレーションスキーム構築事業（T-TAC 事業）の一部として運営されており、PEPNet-Japan への問い合わせや技術支援依頼対応の多くは、このT-TAC 事業が日々対応しております。

・東京オリンピック・パラリンピック招致活動における連携協定締結式（5月）



締結式での写真

5月23日 木曜日、東京都庁第一庁舎5階大会議室において、全国の77大学が参加し、2020年東京オリンピック・パラリンピック招致活動における第2回連携協定締結式が行われました。本学からは、村上学長と保健学科鍼灸学専攻1年次中澤 隆さん（パラトライアスロン世界13位、日本1位）が出席しました。今後は、第1回の5大学と合わせ、82大学と東京都及び招致委員会がそれぞれの資源を活用し、相互に連携・協力体制を構築し、一層の招致気運の高揚を図り、招致活動の成功を目指すこととなりました。

・ギャローデット大学と大学間交流協定を締結（6月）



調印式の様子

6月7日 金曜日、天久保キャンパスにおいて、本学の村上芳則学長とギャローデット大学（アメリカ合衆国）のハーウィッツ学長が、両校の大学間交流協定をさらに5年間更新する覚書に署名しました。またこの日は、ギャローデット大学から学長の他にマリ副学長など6名の教職員と、「World Deaf Leadership (WDL) Scholarship(世界ろう者リーダーシップ奨学金)」を受けた卒業生と現学生11名が本学を訪問し、授業見学やグループディスカッション等を通して、両大学の教職員・学生間の交流を深めました。今後、この交流協定の更新を契機として両大学の連携が一層強化され、教員及び学生の活発な学術交流の発展、そしてグローバルな視野を持つ人材の育成が期待されます。

・第13回国際シンポジウム2013を開催（10月）



村上学長の歓迎挨拶と基調講演



パネルディスカッション



記念撮影

10月1日 火曜日、天久保キャンパス講堂において、筑波技術大学第13回国際シンポジウム2013が開催されました。今回のテーマは「東アジアにおける障害者のための高等教育の変遷と未来 --国際連携によるさらなる発展を目指して--」です。本学の村上芳則学長の歓迎挨拶と「筑波技術大学における障害者のための高等教育の変遷と将来」と題した基調講演に引き続き、中国長春大学のショウ・ジュハン副学長の招聘講演「中国の高等特殊教育の概要および将来発展のモデル展望」、続いて韓国ナザレ大学のシン・ミン・ギョ学長の招聘講演「韓国ナザレ大学のリハビリテーションと社会福祉専攻のための開発計画と支援システム」がありました。

講演後、本学 石原保志副学長の司会のもとパネルディスカッションの時間が設けられました。パネラーは、ご講演いただいた中国長春大学のショウ・ジュハン副学長、韓国ナザレ大学のシン・ミン・ギョ学長、本学の村上芳則学長、さらに中国からの留学生のサイ・カクくんと韓国からの留学生のイ・ジスさんが加わり、講演者と会場との熱心な質疑応答があり国際連携による発展を目指すにふさわしいシンポジウムとなりました。

• 平成25年度障害学生支援大学長連絡会議を開催（10月）



渡辺学生・留学生課長による基調講演



協議事項について意見交換を行う様子

10月11日 金曜日、今回の開催主幹大学である本学を会場として「平成25年度障害学生支援大学長連絡会議」を開催しました。今回は6回目の開催で、国立、私立大学合わせて16大学の学長や障害学生支援担当者が出席しました。村上学長から、本会議の開催趣旨等を含めた開会あいさつの後、最初に本学の視察として、産業技術学部の授業や天久保キャンパスの施設見学を行いました。次いで、文部科学省高等教育局学生・留学生課の渡辺課長及び田畑厚生係・就職指導係長から、「障害学生支援の現状と今後の動向について」と題し、障害者施策の動向や大学等における今後の対応に関する基調講演が行われました。協議事項では、「今後の障害学生支援について」として、基調講演に対する質疑応答や大阪教育大学から提案のあった「障害者差別解消法成立に伴う学内における対応状況について」及び京都教育大学から提案のあった「教員養成大学における障害学生への支援策について」に関し活発な意見交換があり、各大学の状況等について情報共有を行いました。引き続き、「障害学生支援の取組みについて」として、本学障害者高等教育研究支援センターの三好准教授から「PEPNet-Japan&筑波技術大学（T-TAC）トピックス」について、本学の障害学生支援の最新情報等の説明がありました。

• 「平成25年度障害学生支援セミナー」を開催（12月）



基調講演の様子

12月17日 火曜日、つくば国際会議場にて、日本学生支援機構、筑波大学、筑波技術大学による「平成25年度 障害学生支援セミナー ～筑波障害学生支援研究会～」を開催しました。このセミナーは障害学生支援に関する情報を広く提供することにより、全国の高等教育機関の教職員・学生・企業関係者などが障害学生に対する支援の更なる理解を深め、障害学生支援の質の向上に資することを目的としています。今回は障害学生が普段使用しているツールからハイテクまで幅広くテクノロジーとして捉え、「障害学生支援とテクノロジー」をテーマに開催し、全国各地から148人が参加しました。午前の基調講演では「サイバニクスが拓く障害者向け支援技術の可能性」というタイトルで、筑波大学の山海嘉之教授に自身が開発されたロボットスーツHALや最新の研究成果をお話いただきました。午後の障害別セミナーでは、視覚障害、聴覚障害、運動障害、発達障害の分野ごとに、テクノロジーと支援に関する話題提供と質疑応答がありました。座談会では障害のある社会人を招いて、大学生活を通じて学んだことや障害学生支援の課題について語っていただきました。

• 第7回つくば産産学連携促進市inアキバに本学が参加（3月）

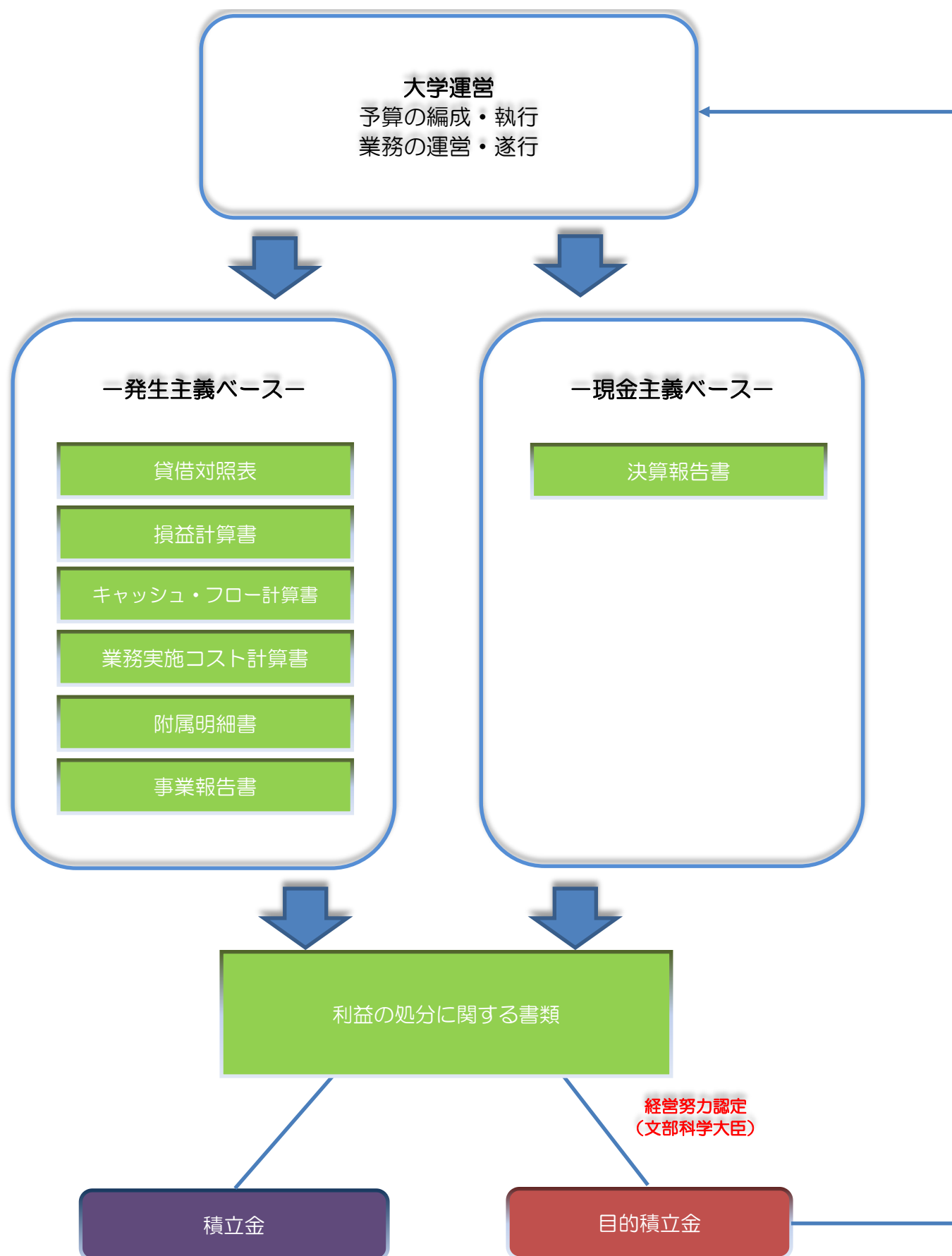


発表を行う及川教授

3月26日 水曜日、つくば市主催による第7回つくば産産学連携促進市inアキバが開催されました。今回のテーマは「スポーツ+科学=新たなビジネスチャンス」とし、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定により、あらためて注目を浴びるスポーツ科学にスポットを当て、基調講演や研究事例発表が行われました。本学からは、障害者高等教育研究支援センターの及川力教授が「障害があってもスポーツで輝ける街づくり」と題した研究事例発表を行いました。障害者がスポーツをするには、スポーツを教えてくれる人の養成、場所の確保、障害者スポーツへの誘導や情報提供が必要であるなどのお話がありました。また、展示ブースではブラインドサッカーなどの障害者スポーツの紹介や、パラリンピック・デフリンピックの概要説明、視覚・聴覚障害者スポーツにおける情報保障の説明を行いました。

国立大学法人の決算について

国立大学法人は、企業会計に準拠した国立大学法人会計基準に従って、財務諸表の作成をしております。また、企業会計にはない書類で、大学法人の業務運営に対する国民の皆様の負担を表す国立大学法人等業務実施コスト計算書や、官庁会計に準じた決算報告書を作成しております。



■ 貸借対照表

決算日(年度末)における本学の全ての資産、負債、純資産を記載することにより財務状況を明らかにした書類です。

勘定科目	平成24年度	平成25年度	増減
資産の部	12,567,195,806	12,337,624,532	△ 229,571,274
I 固定資産	11,602,585,886	11,194,025,093	△ 408,560,793
1 有形固定資産	11,482,540,950	10,955,051,427	△ 527,489,523
土地	7,975,000,000	7,215,000,000	△ 760,000,000
土地減損損失累計額	△ 175,000,000	0	175,000,000
建物	3,864,388,407	3,928,347,909	63,959,502
建物減価償却累計額	△ 1,089,240,461	△ 1,212,628,681	△ 123,388,220
建物減損損失累計額	△ 53,964,171	0	53,964,171
構築物	391,528,955	394,384,928	2,855,973
構築物減価償却累計額	△ 160,259,992	△ 174,027,376	△ 13,767,384
構築物減損損失累計額	△ 647,096	0	647,096
工具器具備品	1,078,934,053	1,322,759,959	243,825,906
工具器具備品減価償却累計額	△ 718,969,979	△ 868,754,920	△ 149,784,941
図書	343,808,389	348,111,105	4,302,716
車輛運搬具	11,395,867	11,395,867	0
車輛運搬具減価償却累計額	△ 11,182,822	△ 11,395,864	△ 213,042
建設仮勘定	26,749,800	1,858,500	△ 24,891,300
2 無形固定資産	9,146,038	8,423,644	△ 722,394
ソフトウェア	8,544,681	7,822,287	△ 722,394
電話加入権	295,000	295,000	0
工業所有権仮勘定	306,357	306,357	0
3 投資その他の資産	110,898,898	230,550,022	119,651,124
投資有価証券	109,932,714	230,357,322	120,424,608
長期前払費用	918,934	145,450	△ 773,484
預託金	47,250	47,250	0
II 流動資産	964,609,920	1,143,599,439	178,989,519
現金及び預金	939,982,650	1,088,932,182	148,949,532
未収学生納付金収入	1,974,000	846,000	△ 1,128,000
未収附属診療所収入	9,553,660	10,021,937	468,277
未収入金	385,362	27,859,590	27,474,228
たな卸資産	1,005,726	966,405	△ 39,321
医薬品及び診療材料	4,362,071	7,663,008	3,300,937
その他	7,346,451	7,310,317	△ 36,134

職員宿舍敷地（竹園3丁目34）の土地売却による土地及び土地減損損失累計額の減

学生支援棟（紫峰会館）の改修による建物の増

職員宿舍の売却による建物減損損失累計額の減

東西医学統合医療センターにおける診療機器の更新等による増加

筑波技術大学基金の資金運用により国債を購入したことによる投資有価証券の増

職員宿舍敷地の売却等による現金及び預金の増加

設備整備費補助金（第1号補正予算）が事業終了後交付のため

資産・負債・純資産の構成内訳



(単位：円)

勘定科目	平成24年度	平成25年度	増減
負債の部	1,778,787,466	1,855,881,973	77,094,507
I 固定負債	920,132,142	1,136,063,483	215,931,341
資産見返負債	822,184,039	909,975,165	87,791,126
資産見返運営費交付金等	467,050,697	453,630,409	△ 13,420,288
資産見返補助金等	20,974,979	138,823,675	117,848,696
資産見返寄附金	22,735,754	30,989,773	8,254,019
資産見返物品受贈額	284,366,452	284,366,451	△ 1
建設仮勘定見返運営費交付金等	26,749,800	1,858,500	△ 24,891,300
工業所有権仮勘定見返運営費交付金等	306,357	306,357	0
長期寄附金債務	29,970,300	150,381,240	120,410,940
財経センター債務負担金	7,160,050	6,082,550	△ 1,077,500
退職給付引当金	42,561,284	28,833,349	△ 13,727,935
長期未払金	18,256,469	40,791,179	22,534,710
II 流動負債	858,655,324	719,818,490	△ 138,836,834
運営費交付金債務	190,860,441	163,271,416	△ 27,589,025
預り補助金等	0	0	0
預り施設費	2,090,000	0	△ 2,090,000
寄附金債務	189,347,589	59,072,053	△ 130,275,536
前受受託研究費等	250,415	3,276,915	3,026,500
前受金	3,473,480	5,653,745	2,180,265
預り研究費補助金等	19,590,120	27,798,506	8,208,386
預り金	29,933,298	34,227,285	4,293,987
一年以内返済予定財経センター債務負担金	1,077,500	1,077,500	0
未払金	421,029,984	424,718,524	3,688,540
未払費用	139,397	162,446	23,049
未払消費税等	863,100	560,100	△ 303,000
純資産の部	10,788,408,340	10,481,742,559	△ 306,665,781
I 資本金	11,388,702,019	11,008,702,019	△ 380,000,000
II 資本剰余金	△ 793,795,634	△ 711,040,557	82,755,077
III 利益剰余金	193,501,955	184,081,097	△ 9,420,858
前中期目標期間繰越積立金	34,588,317	34,588,317	0
教育研究環境整備積立金	122,517,106	111,069,338	△ 11,447,768
当期未処分利益	36,396,532	38,423,442	2,026,910

東西医学統合医療センターの診療機器の更新等による資産見返補助金の増

筑波技術大学基金の資金運用に伴い国債を購入。長期間において使用しないことにより長期寄附金債務を計上

退職手当などの未執行額執行時に収益化処理を行います。

筑波技術大学基金における国債購入に伴い、長期寄附金債務へ振替えたことによる寄附金債務への減

職員宿舍敷地の売却による資本金の減

文部科学大臣より承認を受けた目的積立金

資産見返負債とは……

運営費交付金・補助金・寄附金・無償譲与等の財源で取得した固定資産の見合いで負債に計上され、固定資産の減価償却に伴って、資産見返負債戻入という収益に振替られるもので、資産・負債を均衡させるための勘定科目であり、国立大学会計基準特有の会計処理です。

主な勘定科目（財源）

資産見返運営費交付金等（運営費交付金及び授業料）
 資産見返補助金（補助金）
 資産見返寄附金（寄附金）
 資産見返物品受贈額（無償譲与）

■ 損益計算書

大学の運営状況を教育、研究等の目的別に獲得した収益とそれに要した費用を対応させ、得られた利益を明らかにしたものです。

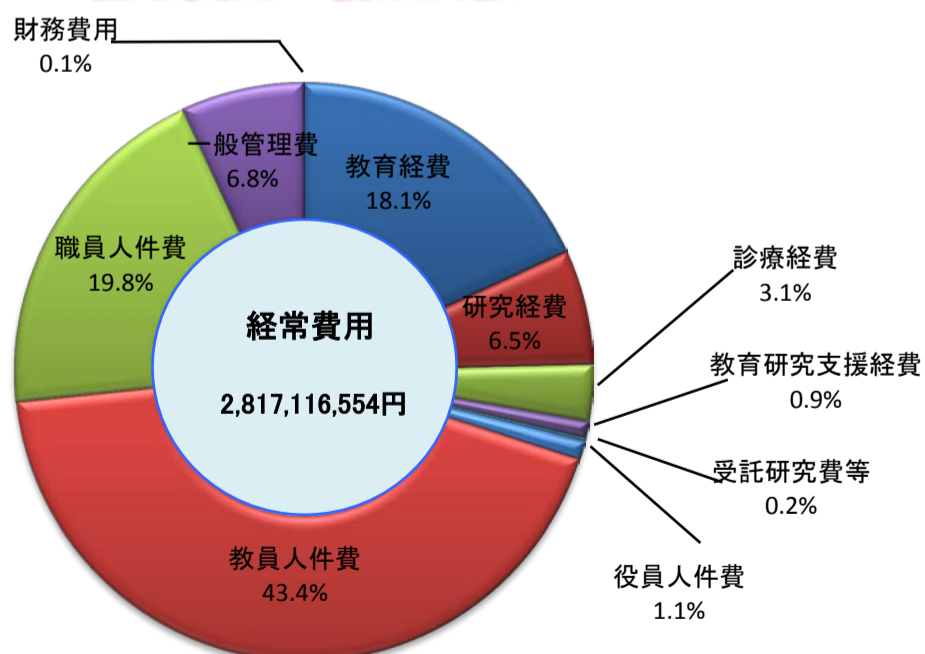
勘定科目	平成24年度	平成25年度	増減
経常費用	2,796,309,920	2,817,116,554	20,806,634
業務費	2,610,163,608	2,623,292,041	13,128,433
教育経費	458,812,406	511,301,054	52,488,648
研究経費	185,942,081	181,748,242	△ 4,193,839
診療経費	83,540,353	87,944,222	4,403,869
教育研究支援経費	33,845,827	26,319,834	△ 7,525,993
受託研究費等	523,610	4,852,751	4,329,141
受託事業費等	0	0	0
人件費	1,847,499,331	1,811,125,938	△ 36,373,393
役員人件費	30,896,672	30,646,008	△ 250,664
教員人件費	1,286,315,241	1,223,102,112	△ 63,213,129
職員人件費	530,287,418	557,377,818	27,090,400
一般管理費	184,881,419	192,479,629	7,598,210
財務費用	1,229,892	1,344,884	114,992
雑損	35,001	0	△ 35,001
臨時損失	138,142	2,029,815	1,891,673
当期総利益	36,396,532	38,423,442	2,026,910

学生支援棟（紫峰会館）の改修に伴う費用が増加したため

長期勤続退職者が平成24年度より減少したことにより、退職手当の費用が減少したため

平成26年度より設置となる大学院新専攻の募集等にかかる費用が増加したため

経常費用の構成内訳



(単位：円)

勘定科目	平成24年度	平成25年度	増減
経常収益	2,832,706,454	2,847,201,497	14,495,043
運営費交付金収益	2,295,480,658	2,258,052,094	△ 37,428,564
学生納付金収益	220,590,500	221,146,494	555,994
公開講座等収益	776,200	512,000	△ 264,200
附属病院収益	103,299,742	111,667,451	8,367,709
受託研究等収益	523,610	5,848,889	5,325,279
受託事業等収益	0	0	0
施設費収益	1,875,343	25,889,598	24,014,255
補助金等収益	108,628	21,071,769	20,963,141
寄附金収益	10,423,785	16,369,084	5,945,299
資産見返負債戻入	143,384,099	128,679,108	△ 14,704,991
資産見返運営費交付金等戻入	126,657,048	114,673,888	△ 11,983,160
その他資産見返負債戻入	16,727,051	14,005,220	△ 2,721,831
財務収益	476,545	683,713	207,168
雑益	55,767,344	57,281,297	1,513,953
臨時利益	138,140	290,089	151,949
目的積立金取崩額	0	10,078,225	10,078,225

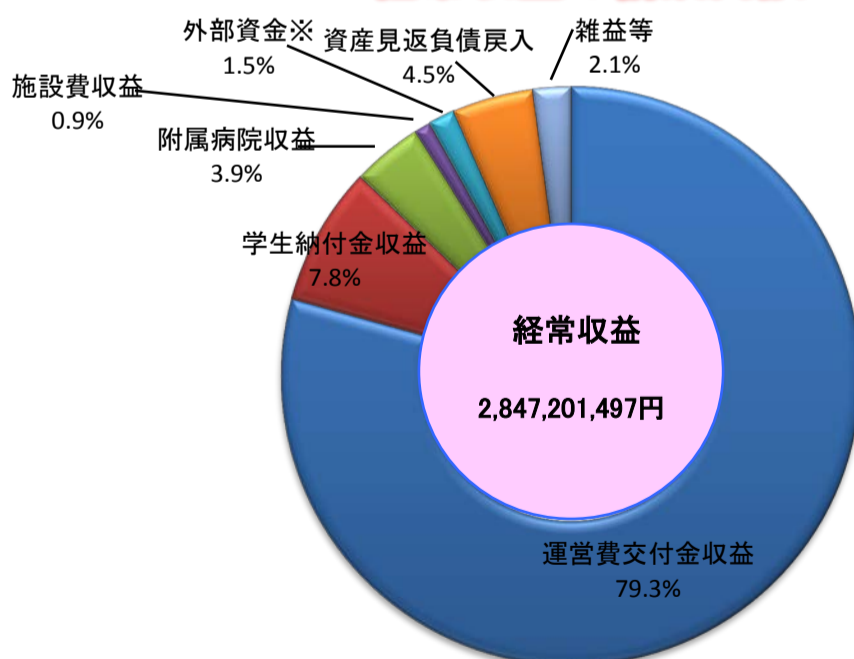
平成24年度と比べ、運営費交付金の交付額が減少したことにより、運営費交付金の収益化額が減少したため

患者数の増加等により診療に係る経費が増加したため

施設費及び補助金の交付額が平成24年度と比較して増加したことにより、収益化額が増加したため

学生支援棟（紫峰会館）の改修に目的積立金を執行したことにより、目的積立金取崩額が発生

経常収益の構成内訳



※補助金等収益・受託研究等収益・寄附金収益

■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

一会計期間におけるキャッシュ・フロー（資金の流れ）の状況を明らかにするため、業務活動、投資活動、財務活動の3つの活動区分に分けて報告する計算書です。

運営費交付金の交付額が減少したため

設備整備費補助金の交付により、補助金等収入が増加したため

平成24年度は基金設立による筑波技術大学教育研究助成財団からの受入があったため

筑波技術大学基金の資金運用により国債を新規購入したため

職員宿舎敷地の売却による収入

職員宿舎敷地の売却による現金・預金等を定期預金に預け入れたため

職員宿舎敷地の売却による収入のうち、半額を国立大学財務・経営センターに納付するため

科 目	平成24年度	平成25年度	増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	362,213,262	136,292,197	△ 225,921,065
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 542,761,659	△ 601,667,928	△ 58,906,269
人件費支出	△ 1,815,334,474	△ 1,869,739,471	△ 54,404,997
その他の業務支出	△ 176,331,254	△ 170,215,051	6,116,203
運営費交付金収入	2,387,185,000	2,304,946,000	△ 82,239,000
学生納付金収入	151,965,050	150,503,550	△ 1,461,500
附属診療所収入	102,956,397	111,199,174	8,242,777
受託研究等収入・受託事業等収入	475,000	5,133,000	4,658,000
補助金等収入	1,347,499	122,749,000	121,401,501
寄附金収入	198,137,947	10,906,804	△ 187,231,143
その他収入	59,607,287	59,974,746	367,459
預り金の増加	△ 5,033,531	12,502,373	17,535,904
国庫納付金の支払額	0	0	0
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 76,113,799	△ 161,685,733	△ 85,571,934
有価証券の取得による支出	0	△ 150,420,300	△ 150,420,300
有形固定資産の取得による支出	△ 99,609,254	△ 232,623,000	△ 133,013,746
無形固定資産の取得による支出	△ 795,357	△ 3,599,400	△ 2,804,043
有形固定資産の売却による収入	0	698,003,150	698,003,150
定期預金の預入による支出	△ 226,154,000	△ 802,000,000	△ 575,846,000
定期預金の払戻による受入	191,994,000	592,154,000	400,160,000
施設費による収入	58,000,000	87,370,000	29,370,000
施設費の精算に伴う返還金の支出	0	△ 2,090,000	△ 2,090,000
国立大学財務・経営センターへの納付による支出	0	△ 349,001,575	△ 349,001,575
利息及び配当金の受取額	450,812	521,392	70,580
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 39,620,618	△ 35,502,932	4,117,686
国立大学財務・経営センター債務負担金の返済による支出	△ 1,077,500	△ 1,077,500	0
リース債務の返済による支出	△ 37,240,015	△ 33,103,597	4,136,418
利息の支払額	△ 1,303,103	△ 1,321,835	△ 18,732
IV 資金に係る換算差額	0	0	0
V 資金増加額（△は減少）	246,478,845	△ 60,896,468	△ 307,375,313
V 資金期首残高	467,349,805	713,828,650	246,478,845
VI 資金期末残高	713,828,650	652,932,182	△ 60,896,468

■ 国立大学法人等業務実施コスト計算書

(単位：円)

国立大学法人の運営にあたり国民の皆様にご負担いただいている額を示す計算書です。

科目	平成24年度	平成25年度	増減	
I 業務費用	2,402,577,141	2,391,441,859	△ 11,135,282	
(1) 損益計算書上の費用	2,796,448,062	2,819,146,369	22,698,307	
業務費	2,610,163,608	2,623,292,041	13,128,433	
一般管理費	184,881,419	192,479,629	7,598,210	
財務費用	1,229,892	1,344,884	114,992	
雑損	35,001	0	△ 35,001	固定資産の除却に伴う増加
臨時損失	138,142	2,029,815	1,891,673	
(2) (控除) 自己収入等	△ 393,870,921	△ 427,704,510	△ 33,833,589	
学生納付金収益	△ 220,590,500	△ 221,146,494	△ 555,994	患者数の増加などによる収益額の増加
附属診療所収益	△ 103,299,742	△ 111,667,451	△ 8,367,709	
受託研究等収益	△ 523,610	△ 5,848,889	△ 5,325,279	受託研究等の受入増加による収益額の増加
寄附金収益	△ 10,423,785	△ 16,369,084	△ 5,945,299	
財務収益	△ 476,545	△ 683,713	△ 207,168	
雑益	△ 40,302,247	△ 39,755,110	547,137	
資産見返運営費交付金等戻入	△ 12,030,820	△ 25,959,081	△ 13,928,261	
資産見返寄附金戻入	△ 6,223,670	△ 6,274,686	△ 51,016	
臨時利益	△ 2	△ 2	0	
II 損益外減価償却相当額	150,253,888	153,293,908	3,040,020	職員宿舍敷地の売却による減少
III 損益外減損損失相当額	175,000,000	0	△ 175,000,000	
IV 損益外利息費用相当額	0	0	0	
V 損益外除売却差額相当額	2	△ 106,802,508	△ 106,802,510	職員宿舍敷地の売却等による減少
VI 引当外賞与増加見積額	△ 3,920,238	9,985,119	13,905,357	
VII 引当外退職給付増加見積額	4,894,180	△ 93,063,501	△ 97,957,681	
VIII 機会費用	71,028,454	74,220,256	3,191,802	国家公務員に準じた退職手当規則の変更による退職手当額の減少
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	11,672,926	8,382,300	△ 3,290,626	
政府出資の機会費用	59,355,528	65,837,956	6,482,428	
IX 国立大学法人等業務実施コスト	2,799,833,427	2,429,075,133	△ 370,758,294	

■決算報告書

国における会計基準に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえ、一部発生主義を取り入れて、年度計画の予算と比較することにより、運営状況を報告するものです。なお、収入額が支出額を上回れば、その差額は一定のルールにより繰越が可能となっております。

●収入

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)
運営費交付金	2,454	2,496	42
うち補正予算による追加	0	0	0
施設整備費補助金	71	71	0
補助金等収入	146	147	1
国立大学財務・経営センター施設費交付金	17	17	0
自己収入	1,295	1,092	△ 203
授業料、入学料及び検定料収入	220	224	4
附属病院収入	100	111	11
財産処分収入	919	698	△ 221
雑収入	56	59	3
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	27	235	208
引当金取崩	0	19	19
承継剰余金	0	0	0
目的積立金取崩	81	48	△ 33
計	4,091	4,125	34

●支出

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)
業務費	3,419	2,745	△ 674
教育研究経費	3,266	2,572	△ 694
診療経費	153	173	20
施設整備費	88	88	0
補助金等	146	147	1
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	27	22	△ 5
長期借入金償還金	1	1	0
国立大学財務・経営センター施設費納付金	410	349	△ 61
計	4,091	3,352	△ 739

●収支

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)
収入-支出	0	773	773
計	0	773	773

財務分析

財務諸表等の財務データにおいて財務分析を行うことにより、大学の財政状態等の把握や改善に資するために活用するとともに、国民の皆様や大学の関係者の皆様に対する説明責任のための資料として活用しております。

収入・支出の推移

◎収入

○運営費交付金

運営費交付金は、国立大学法人が継続的・安定的に教育研究活動を実施できるよう、基盤的経費として交付されておりますが、大学改革促進係数により毎年1%ずつ減額されています。

これから第3期中期目標期間に向けて、運営費交付金に頼るだけでなく、大学の強み・特色を最大限に生かし、自ら改善・発展する仕組みを構築することにより、持続的な「競争力」を持ち、高い付加価値を生み出すことが求められています。

ポイント！

交付額と収益額の差額については、主に退職手当が要因になります。退職手当は運営費交付金の収益化基準において、費用が発生した時に収益化する費用進行基準が適用されるため、交付された年度と支給を行う年度が異なることにより差額が生じます。



○施設費

施設費は、施設整備のために国から交付される施設整備費補助金と独立行政法人財務・経営センターより交付される事業費からなります。平成21年度は短大から4年制大学の移行に伴う学生寄宿舎の増設を行ったため増加しています。

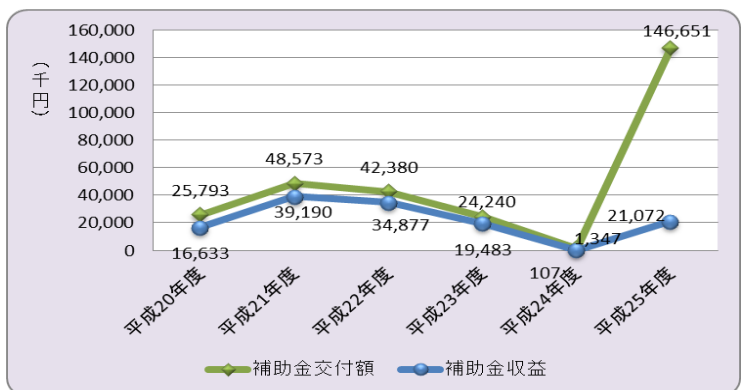


外部資金

○補助金

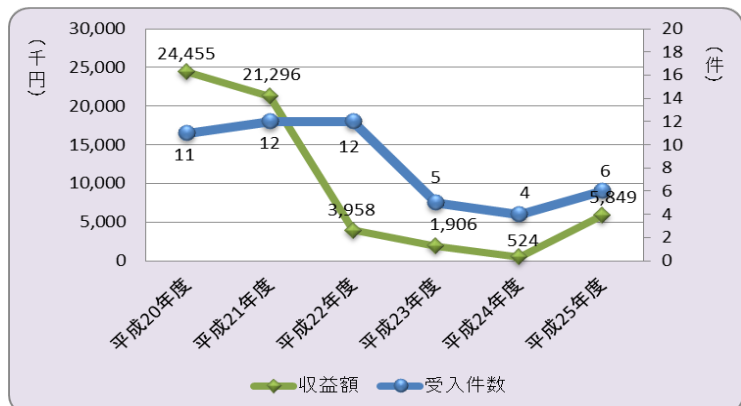
平成25年度の主な増加要因は、設備整備費補助金により東西医学統合医療センター医療機器設備の高度化として、磁気共鳴診断撮影装置（MRI）を購入したことです。

なお、補助金交付額と補助金収益が必ずしも一致していないのは、損益均衡の考え方に基づき「資産見返負債」として計上したことによるものです。



○受託研究・共同研究・受託事業

平成21年度までは、文部科学省の「聴覚障害者のみを対象とする大学・学部の資源を活かした職業技術学び直しプログラム」の受託が大きな割合を占めていました。平成25年度は、受託研究の受け入れに伴い収益額が増加しています。



○寄附金

平成24年度は、寄附金受入額が増加していますが、これは平成24年4月に設置した筑波技術大学基金によるものであり、平成24年3月に解散した筑波技術大学教育研究助成財団（旧財団）の基本財産を承継しているためです。

なお、本基金は旧財団の目的である本学学生の教育研究活動への助成を行っています。

ポイント！

国立大学法人会計基準に基づき、寄附金受入時には寄附金債務として計上し、寄附金の執行（費用計上）を行った時に寄附金収益に振替えます。

そのため、受入額と収益額は必ずしも一致しません。また、50万円以上の資産を購入した場合は、寄附金収益ではなく資産見返寄附金に振替えます。

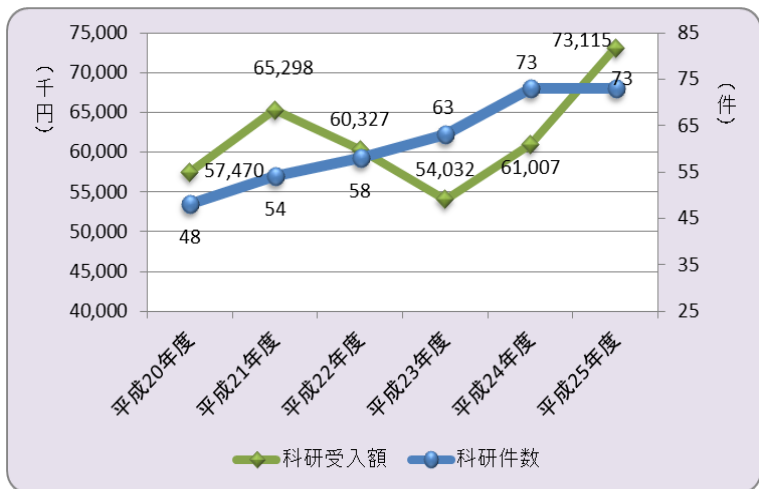
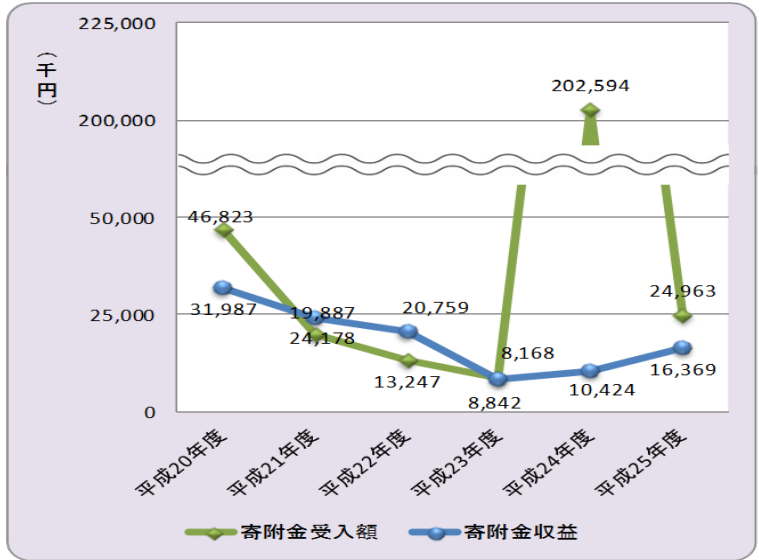
○科学研究費補助金

科学研究費補助金は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」です。

平成25年度の新規採択率（本学教員が研究代表者のもの）は全国平均を大きく上回っています。

新規採択率 32.4%（全国平均27.4%）

※グラフは財務諸表（附属明細書）の「科学研究費補助金の明細」より作成。受入額及び件数は研究分担者の受け入れも含んでおります。



◎支 出

○教育経費

本学は聴覚・視覚障害者のための高等教育を行っており、授業料免除や情報保障の支援を行っているため教育経費が高くなっています。

業務費対教育経費比率 ※財務指標参照

平成25年度 19.5%（他大学平均17.0%）

学生あたり教育経費 ※財務指標参照

平成25年度 1,353千円（他大学平均 265千円）

上記の指標は他大学に比べ、高い水準になっております。授業料収入の約35%を授業料免除の奨学金に充てており、他大学に比べ手厚い支援を行っております。

○研究経費

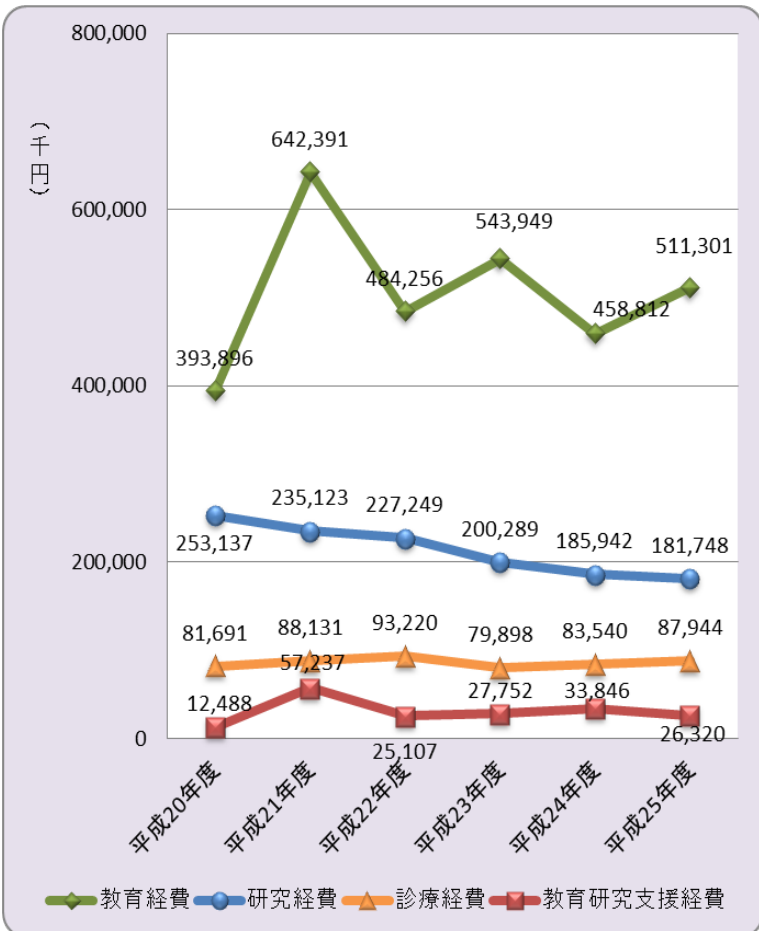
文部科学省の特別経費プロジェクトなどの事業費の減少に伴い、研究経費が減少傾向になっております。

○診療経費

附属病院に係る経費です。本学には東西医学統合医療センターがあり、東西医学の統合的診療を実践する日本でも数少ない医療施設です。科学的に質の高い診療・鍼灸治療ならびに教育研究を行ない、地域医療に貢献することを目的としています。

○教育研究支援経費

教育及び研究の両方を支援するための経費です。本学では、附属図書館及び情報処理通信センターが該当します。



財務指標

本学は以下の五つの指標体系により分析を行っております。

また、他大学の平均（本学除く6大学）については、国立大学法人の財務分析上の分類（Cグループ※：医科系学部を有さず、学生収容定員に占める文科系学生数が理工系学生数の概ね2倍を上回る国立大学法人・・・本学含む7大学）に基づいて分析しております。

ただし、（4）活動性の指標の⑤診療経費比率及び⑥附属病院収入対長期借入金返済比率については、Cグループで附属病院を設置している大学がないため、Gグループ（医科系学部その他の学部で構成され、A～Fのいずれにも属さない国立大学法人）より、運営費交付金交付額の少ない3大学（佐賀大学、大分大学、宮崎大学）に基づいて分析しております。

※小樽商科大学、福島大学、東京外国語大学、東京芸術大学、一橋大学、滋賀大学

(1) 財務の健全性(安全性)の指標

継続安定的に教育研究を提供するために一定の財務の健全性・安全性が確保されているかを表す指標です。

- ①流動比率＝流動資産÷流動負債×100%
 （流動負債に対して、一年以内に現金化が可能な流動資産を確保しているか。）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
流動資産	903,398,799	773,179,933	646,471,486	724,930,276	964,609,920	1,143,599,439
流動負債	587,184,451	549,497,688	629,954,377	677,125,254	858,655,324	1,136,063,483
流動比率	153.9%	140.7%	102.6%	107.1%	112.3%	100.7%
他大学平均	115.1%	111.2%	91.8%	87.7%	91.4%	89.6%

- ②自己資本比率＝自己資本÷（負債＋自己資本）×100%
 （総資産に対する自己資本の比率であり健全性を示す。）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
自己資本	11,173,111,454	11,447,347,212	11,144,430,914	11,064,231,041	10,788,408,340	10,481,742,559
負債	1,555,799,575	1,449,702,308	1,668,213,049	1,644,527,973	1,778,787,466	1,855,881,973
自己資本比率	87.8%	88.8%	87.0%	87.1%	85.8%	85.0%
他大学平均	81.8%	81.2%	80.9%	80.1%	79.4%	77.1%

- ③経常収益に占める運営費交付金収益の割合＝運営費交付金収益÷経常収益×100%
 （経常収益に占める運営費交付金の割合が高いほど自己収入への依存が低くてすむが、国の財政の影響を強く受ける。）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
運営費交付金収益	2,532,827,312	2,480,616,356	2,488,213,330	2,464,368,799	2,295,480,658	2,258,052,094
経常収益	2,998,250,802	3,030,205,079	3,067,836,933	3,039,652,091	2,832,706,454	2,847,201,497
経常収益に占める運営費交付金の割合	84.5%	81.9%	81.1%	81.1%	81.0%	79.3%
他大学平均	53.9%	53.3%	52.8%	52.7%	50.3%	49.0%

(2) 効率性の指標

国立大学法人の運営が効率的に行われているかを表す指標です。

- ①業務費対人件費率＝人件費÷業務費×100%
 （この比率が高いことは、教育研究活動に直接さける経費が少ないことを示す。）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
人件費	1,955,486,439	1,799,644,781	1,958,613,151	1,948,930,938	1,847,499,331	1,811,125,938
業務費	2,720,281,565	2,842,782,262	2,792,193,148	2,802,677,211	2,610,163,608	2,623,292,041
業務費対人件費率	71.9%	63.3%	70.1%	69.5%	70.8%	69.0%
他大学平均	75.1%	72.2%	72.7%	72.4%	71.5%	68.5%

- ②業務費対一般管理費率＝一般管理費÷業務費×100%
 （一般管理費は管理業務の費用であり、この比率が高いのは非効率を示す。）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
一般管理費	195,538,123	193,677,819	180,802,171	201,523,439	184,881,419	192,479,629
業務費	2,720,281,565	2,842,782,262	2,792,193,148	2,802,677,211	2,610,163,608	2,623,292,041
業務費対一般管理費率	7.2%	6.8%	6.5%	7.2%	7.1%	7.3%
他大学平均	5.9%	5.6%	5.3%	5.6%	6.3%	6.0%

③自己収入対経常収益比率＝自己収入÷経常収益×100%
(自己収入の増額を図ることは、財源の安定性と教育研究活動の質的充実に資する。)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
自己収入	347,854,988	383,492,454	411,830,431	383,155,405	393,870,921	427,704,510
経常収益	2,998,250,802	3,030,205,079	3,067,836,933	3,039,652,091	2,832,706,454	2,847,201,497
自己収入対経常収益比率	11.6%	12.7%	13.4%	12.6%	13.9%	15.0%
他大学平均	42.1%	41.2%	43.1%	42.6%	45.0%	44.2%

(3)収益性の指標

国立大学の収益源が何であり、収益を上げるための原因・対策を分析するための指標です。

①経常利益利率＝経常利益÷経常収益×100%
(経常収益に対する経常利益の比率で、事業の収益性を示す。)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
経常利益	80,919,122	△ 8,742,822	89,637,980	30,522,862	36,396,534	38,423,442
経常収益	2,998,250,802	3,030,205,079	3,067,836,933	3,039,652,091	2,832,706,454	2,847,201,497
経常利益比率	2.7%	-0.3%	2.9%	1.0%	1.3%	1.3%
他大学平均	2.3%	0.3%	1.3%	0.6%	0.3%	0.1%

②外部資金比率＝(受託研究収益＋受託事業収益＋寄附金収益)÷経常収益×100%
(外部から獲得した資金の比率であり、資金獲得活動の巧拙及び発展性を示す。)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
受託研究収益	9,164,169	7,133,561	3,307,815	1,905,926	523,610	5,848,889
受託事業収益	15,290,977	14,162,460	650,000	0	0	0
寄附金収益	31,986,885	24,178,205	20,758,665	8,167,941	10,423,785	16,369,084
経常収益	2,998,250,802	3,030,205,079	3,067,836,933	3,039,652,091	2,832,706,454	2,847,201,497
外部資金比率	1.9%	1.5%	0.8%	0.3%	0.4%	0.8%
他大学平均	3.7%	3.6%	3.8%	3.7%	4.8%	3.8%

(4)活動性の指標

教育、研究及び管理が適正な基準でなされているかを表す指標です。

①業務費対研究経費比率＝研究経費÷業務費×100%
(業務費に占める研究経費の割合、研究の比重を示す。)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
研究経費	253,137,073	235,123,001	227,248,545	200,288,751	185,942,081	181,748,242
業務費	2,720,281,565	2,842,782,262	2,792,193,148	2,802,677,211	2,610,163,608	2,623,292,041
業務費対研究経費比率	9.3%	8.3%	8.1%	7.1%	7.1%	6.9%
他大学平均	6.0%	6.6%	6.5%	6.5%	6.6%	7.6%

②業務費対教育経費比率＝教育経費÷業務費×100%
(業務費に占める教育経費の割合、教育の比重を示す。)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
教育経費	393,896,282	642,390,799	484,255,511	543,949,231	458,812,406	511,301,054
業務費	2,720,281,565	2,842,782,262	2,792,193,148	2,802,677,211	2,610,163,608	2,623,292,041
業務費対教育経費比率	14.5%	22.6%	17.3%	19.4%	17.6%	19.5%
他大学平均	13.0%	14.7%	14.4%	15.1%	15.1%	17.0%

③学生あたり教育経費＝教育経費÷学生数×100%

千円/1人あたり

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
教育経費	393,896,282	642,390,799	484,255,511	543,949,231	458,812,406	511,301,054
学生数	278	355	380	387	371	378
学生あたり教育経費	1,417	1,810	1,274	1,406	1,237	1,353
他大学平均	202	238	221	229	226	265

④教員あたり研究経費＝研究経費÷教員数×100%

千円/1人あたり

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
研究経費	253,137,073	235,123,001	227,248,545	200,288,751	185,942,081	181,748,242
教員数	114	112	113	112	112	111
教員あたり研究経費	2,221	2,099	2,011	1,788	1,660	1,637
他大学平均	1,490	1,694	1,458	1,455	1,495	1,495

⑤診療経費比率＝診療経費÷附属診療所収益×100%

(附属診療所収益に対する診療経費の比率で、収益性・効率性を示す。)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
診療経費	81,690,776	88,131,022	93,219,672	79,898,254	83,540,353	87,944,222
附属診療所収益	104,753,778	109,488,451	108,988,781	91,469,775	103,299,742	111,667,451
診療経費比率	78.0%	80.5%	85.5%	87.3%	80.9%	78.8%
他大学平均	58.3%	60.5%	58.9%	61.1%	64.2%	66.2%

⑥附属病院収入対長期借入金返済比率＝(長期借入金返済＋財務経営センター納付金)÷附属診療所収益×100%

(附属診療所収益に対する長期借入金返済の比率で、健全性を判断する指標。)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
長期借入金返済	1,077,500	1,077,500	1,077,500	1,077,500	1,077,500	1,077,500
附属診療所収益	104,753,778	109,488,451	108,988,781	91,469,775	103,299,742	111,667,451
附属病院収入対長期借入金返済比率	1.0%	1.0%	1.0%	1.2%	1.0%	1.0%
他大学平均	5.3%	5.0%	4.6%	5.3%	4.7%	4.5%

(5) 発展性の指標

財務的に収益性を高めて財務体質を強化しているかを表す指標です。

①経常収益の伸び率＝(当年度経常収益高－前年度経常収益高)÷前年度経常収益高×100%

(経常収益の伸び率の視点から発展性。)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
当年度経常収益高	2,998,250,802	3,030,205,079	3,067,836,933	3,039,652,091	2,832,706,454	2,847,201,497
前年度経常収益高	3,014,696,815	2,998,250,802	3,030,205,079	3,067,836,933	3,039,652,091	2,832,706,454
経常収益の伸び率	-0.5%	1.1%	1.2%	-0.9%	-6.8%	0.5%
他大学平均	0.6%	0.8%	-2.9%	-0.4%	-1.1%	2.7%

②経常利益伸び率＝(当年度経常利益－前年度経常利益)÷前年度経常利益×100%

(経常利益の伸び率の視点から。)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
当年度経常利益	80,919,122	△ 8,742,822	89,637,980	30,522,862	36,396,534	38,423,442
前年度経常利益	142,712,415	80,919,122	△ 8,742,822	89,637,980	30,522,862	36,396,534
経常利益伸び率	-43.3%	-110.8%	1125.3%	-65.9%	19.2%	5.6%
他大学平均	4.6%	-127.4%	838.1%	11.7%	170.6%	-46.8%

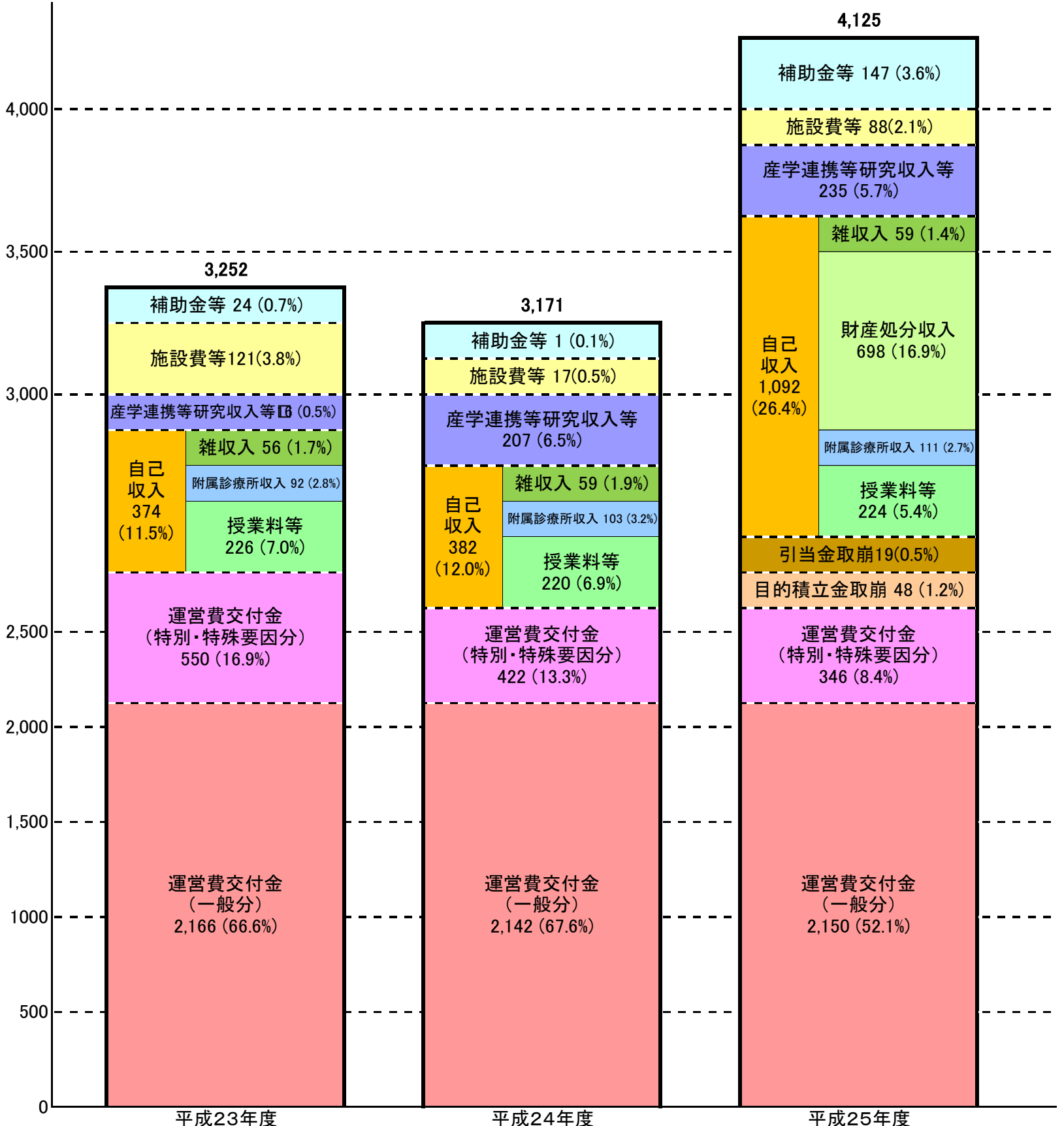
総事業費の推移

本学における収入は、国から措置される運営費交付金や施設費等の他、授業料等の学生納付金収入や附属診療所収入等の自己収入、受託研究や共同研究等の外部資金などによって構成されております。

平成25年度は、本学職員宿舍の土地売却による財産処分収入があったこと、補助金の額が多額だったこと等により、前年度と比べて収入額が増加しております。

●収入

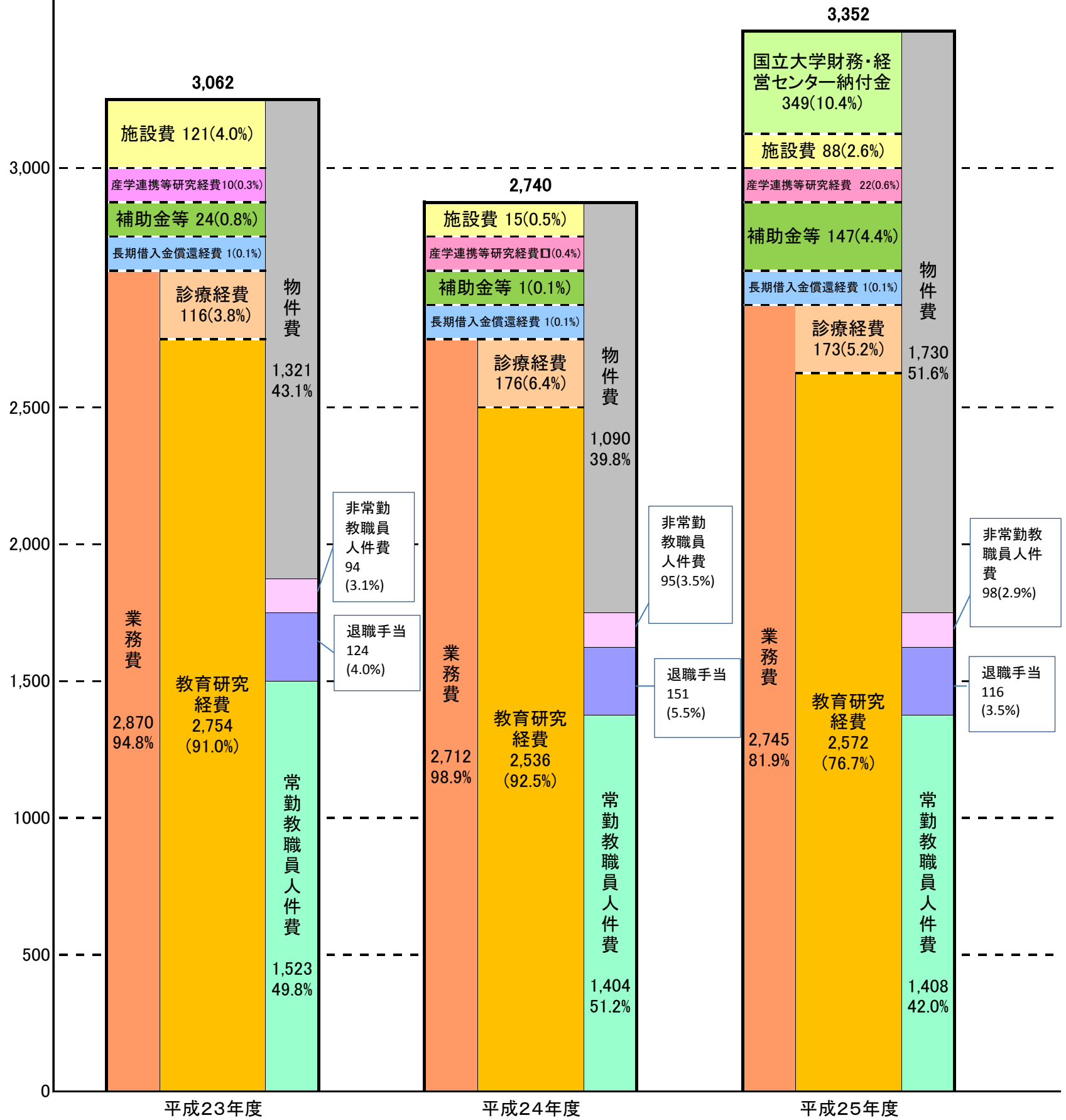
(単位:百万円)



支出は、教育研究経費、診療経費、施設費等で構成されております。
 平成24年度は前年度と比べて支出額が減少しておりますが、これは国家公務員の給与の減額に伴い、本学役職員の給与も減額を行ったため、人件費支出が減少したことによるものです。
 平成25年度は前年度と比べて支出額が増加しておりますが、これは財産処分収入の半額を、国立大学財務・経営センターに納付したこと等によるものです。

●支出

(単位:百万円)



(参考) 財務諸表の経年比較 (平成18事業年度～平成25事業年度)

貸借対照表 B/S (Balance Sheet)

(単位:千円)

資産の部								
科目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
I 固定資産	11,753,783	11,746,826	11,825,512	12,123,870	12,166,172	11,983,829	11,602,586	11,194,025
1 有形固定資産	11,722,361	11,724,870	11,803,147	12,102,051	12,068,069	11,890,106	11,482,541	10,955,051
土地	7,975,000	7,975,000	7,975,000	7,975,000	7,975,000	7,975,000	7,800,000	7,215,000
建物	2,923,963	2,846,121	2,740,838	3,029,762	2,934,271	2,836,271	2,721,184	2,715,719
構築物	248,095	240,125	237,573	262,306	259,007	241,739	230,622	220,358
工具器具備品	263,469	341,849	319,476	497,671	559,292	492,115	359,964	454,005
図書	309,863	314,370	320,022	326,550	337,731	343,490	343,808	348,111
車両運搬具	1,971	7,405	5,326	4,048	2,770	1,491	213	0
建設仮勘定	0	0	204,913	6,714	0	0	26,750	1,859
2 無形固定資産	31,386	21,874	22,288	20,567	17,252	12,444	9,146	8,424
3 投資その他資産	36	83	77	1,251	80,851	81,278	110,899	230,550
II 流動資産	873,117	768,172	903,399	773,180	646,471	724,930	964,610	1,143,599
現金及び預金	857,246	750,607	880,361	748,682	620,644	659,344	939,983	1,088,932
未収学生納付金収入	846	282	846	2,256	1,974	1,692	1,974	846
未収附属診療所収入	9,291	10,239	10,357	10,257	9,469	9,210	9,554	10,022
その他	5,734	7,045	11,835	11,985	14,384	54,684	13,100	43,799
資産合計	12,626,900	12,514,999	12,728,911	12,897,050	12,812,644	12,708,759	12,567,196	12,337,625

(単位:千円)

負債の部								
科目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
I 固定負債	665,885	744,587	968,615	900,205	1,038,259	967,403	920,132	1,136,063
資産見返負債	628,596	701,267	941,665	848,312	964,251	882,311	822,184	909,975
国立大学財務経営センター債務負担金	13,625	12,548	11,470	10,393	9,315	8,238	7,160	6,083
長期寄附金債務	0	0	0	0	0	0	29,970	150,381
退職給付引当金	0	0	0	0	32,808	38,976	42,561	28,833
長期未払金	23,664	30,773	15,480	41,500	31,885	37,878	18,256	40,791
II 流動負債	765,101	546,482	587,184	549,498	629,954	677,125	858,655	719,818
運営費交付金債務	90,727	47,291	109,593	0	113,949	176,751	190,860	163,271
寄附金債務	62,426	53,496	63,773	50,868	32,704	31,604	189,348	59,072
未払金	579,576	416,454	385,637	464,943	428,487	410,809	421,030	424,719
その他	32,372	29,241	28,181	33,686	54,815	57,961	57,417	72,756
負債合計	1,430,986	1,291,070	1,555,800	1,449,702	1,668,213	1,644,528	1,778,787	1,855,882

(単位:千円)

純資産の部								
科目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
I 資本金	11,388,702	11,388,702	11,388,702	11,388,702	11,388,702	11,388,702	11,388,702	11,008,702
政府出資金	11,388,702	11,388,702	11,388,702	11,388,702	11,388,702	11,388,702	11,388,702	11,008,702
II 資本剰余金	-342,834	-457,531	-584,143	-244,508	-370,854	-481,576	-793,796	-711,041
III 利益剰余金	150,046	292,758	368,552	303,153	126,583	157,105	193,502	184,081
旧法人承継積立金	33,094	33,094	27,989	13,158	34,588	34,588	34,588	34,588
目的積立金	43,233	116,951	259,664	100,471	0	91,994	122,517	111,069
積立金	0	0	0	4,238	0	0	0	0
当期末処分利益	73,718	142,712	80,900	185,287	91,994	30,523	36,397	38,423
資本合計	11,195,913	11,223,929	11,173,111	11,447,347	11,144,431	11,064,231	10,788,408	10,481,743

負債・資本合計	12,626,900	12,514,999	12,728,911	12,897,050	12,812,644	12,708,759	12,567,196	12,337,625
---------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

(参考) 財務諸表の経年比較 (平成18事業年度～平成25事業年度)

損益計算書 P/L (Profit & Loss Statement)

(単位:千円)

科目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
経常費用	2,881,204	2,871,984	2,917,332	3,038,948	2,978,199	3,009,129	2,796,310	2,817,117
業務費	2,682,789	2,684,874	2,720,282	2,842,782	2,792,193	2,802,677	2,610,164	2,623,292
教育経費	470,027	308,861	393,896	642,391	484,256	543,949	458,812	511,301
研究経費	190,229	263,350	253,137	235,123	227,249	200,289	185,942	181,748
診療経費	86,760	85,259	81,691	88,131	93,220	79,898	83,540	87,944
教育研究支援経費	30,425	12,193	12,488	57,237	25,107	27,752	33,846	26,320
受託研究費	10,033	21,302	23,583	20,256	3,749	1,858	524	4,853
人件費	1,895,315	1,993,909	1,955,486	1,799,645	1,958,613	1,948,931	1,847,499	1,811,126
役員人件費	34,971	32,184	39,246	31,956	31,870	33,006	30,897	30,646
常勤教員給与	1,213,765	1,368,766	1,359,539	1,217,184	1,340,722	1,311,741	1,265,935	1,202,677
非常勤教員給与	18,255	17,230	14,287	21,805	20,243	18,360	20,381	20,425
常勤職員給与	598,120	539,208	498,973	477,029	508,065	505,070	450,205	473,545
非常勤職員給与	30,202	36,520	43,443	51,670	57,714	80,753	80,083	83,833
一般管理費	196,570	184,786	195,538	193,678	180,802	201,523	184,881	192,480
財務費用	1,845	2,324	1,512	2,488	1,702	1,918	1,230	1,345
雑損	0	0	0	0	3,501	3,011	35	0
経常収益	2,954,922	3,014,697	2,998,251	3,030,205	3,067,837	3,039,652	2,832,706	2,847,201
運営費交付金収益	2,569,491	2,547,225	2,532,827	2,480,616	2,488,213	2,464,369	2,295,481	2,258,052
学生納付金収益	140,029	145,849	142,969	180,080	220,506	219,902	220,591	221,146
附属診療所収益	103,729	103,730	104,754	109,488	108,989	91,470	103,300	111,667
受託研究等収益	10,823	21,467	24,455	21,296	3,958	1,906	524	5,849
施設費収益	1,608	6,026	1,202	12,563	2,128	19,336	1,875	25,890
補助金収益	0	13,844	16,633	39,190	34,877	19,483	109	21,072
寄附金収益	32,349	36,380	31,987	24,178	20,759	8,168	10,424	16,369
資産見返戻入	55,516	87,981	95,691	107,666	132,057	158,538	143,384	128,679
その他	41,378	52,193	47,732	55,127	56,350	56,481	57,020	58,477
臨時損失	0	0	77	3,152	454	74,380	138	2,030
臨時利益	0	0	57	102,065	0	74,380	138	290
当期純利益	73,718	142,712	80,900	90,170	89,184	30,523	36,397	28,345
目的積立金取崩額	0	0	0	95,117	2,810	0	0	10,078
当期総利益	73,718	142,712	80,900	185,287	91,994	30,523	36,397	38,423